

令和4年度第2回
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
議事要旨

- 1 日時 令和4年7月26日(火)午後2時30分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階(P1)会議室
- 3 出席委員 (会場出席) 浅田委員長、奈良委員、槇山委員、南委員、吉川委員
(ウェブ会議出席) 網代委員、原委員

4 議事内容

(1) 公立大学法人大阪令和3事業年度の業務実績に関する評価について

- ・ 事務局から資料1-1に基づき、「小項目評価の審議結果(案)」について説明があった。
- ・ 小項目評価における継続審議項目に関して、法人から、資料1-3「第1回評価委員会での法人への追加確認事項及び回答」に基づき、第1回評価委員会において、法人に追加説明を求めた事項について説明があった後、小項目評価について審議が行われた。
- ・ 小項目評価の審議後は、資料1-2「公立大学法人大阪令和3事業年度の業務実績に関する評価結果(素案)」に基づき、事務局から大項目評価を含めた、評価結果の素案について説明があり、その後、大項目評価について審議が行われた。

<主な意見>

○ 小項目評価(継続審議項目)について

- ・ 「若手・女性研究者等の支援」(NO.49)について、若手・女性研究者等の支援の観点から言うと、さきがけやCRESTのプロジェクトの中に、積極的に若手・女性が登用されているのであれば、積極的に評価ができると考える。法人から説明のあった割合であれば、IV評価が妥当と判断できる。
- ・ 「研究者の育成」(NO.122)について、フェローシップ創設事業における学生への生活費相当額と研究費の金額の良し悪しを判断するのは難しい。年度計画に対して取組みは実施できており、さらにJST次世代研究者挑戦的研究プログラム「リゾーム型研究人材育成プログラム」の採択を受け、大阪公立大学における支援実施に向けて、両事業合同で選抜試験を実施したことから、IV評価が妥当と判断する。

○ 「大阪府立大学の教育研究」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、B評価(「おおむね計画どおり」進捗している)が妥当と判断する。

○ 「大阪府立大学の教育研究」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、A評価(「計画通り」進捗している)が妥当と判断する。

○ 「大阪府立大学工業高等専門学校」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、A評価(「計画通り」進捗している)が妥当と判断する。
- ・ 「評価にあたっての意見、指摘等」について、高専の教員が非常に忙しい中でNO.69のFD活用や公開授業を非常に活発に行っている点を評価すべきではないか。
- ・ コロナ禍で評価不能となった項目があるので、コロナが回復すれば、積極的に活動を再開いただきたいとの期待を込めて記載をしてはどうか。これまでの発言を受け、事務局で記載案を検討いただきたい。

○「業務運営の改善及び効率化」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、B評価(「おおむね計画どおり」進捗している)が妥当と判断する。
- ・ NO.79の「理事長のトップマネジメント」は、新大学設立時に附属病院長が不在であることは非常に大きい問題だと思うので、評価にあたっての意見・指摘等のところで早急な体制の設置が必要であることを記載した方がよいと思う。
- ・ 今回、結果として不十分な状態であったが、今後これを踏まえて体制整備をキチンとすることを、評価委員会として期待することを指摘しておく必要がある。

○「財務内容の改善」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、B評価(「おおむね計画どおり」進捗している)が妥当と判断する。
- ・ 意見・指摘等の「総合的に判断し」とある部分は、「財務内容を総合的に判断し」として、年度計画をおおむね順調に実施しているということでのよいのではないか。
- ・ 寄附金確保の取組に関しては、目標設定の妥当性を含め、令和3年度の達成状況等の実績を検証し、今後の取組に活かしていただきたい。

○「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、A評価(「計画通り」進捗している)が妥当と判断する。
- ・ 情報の提供及び広報に関する取組に関しては、効果的な取組となるよう、“効果測定方法を含め”工夫・改善の努力を継続されることを期待する旨を意見・指摘等に追加してはどうか。

○「その他業務運営に関する重要目標」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、B評価(「おおむね計画どおり」進捗している)が妥当と判断する。
- ・ 新型コロナウイルスワクチンの職域接種について、高く評価できるとあるが、運営体制そのものを評価するのであればよいが、少し唐突感があるので、実際に多くの人に実施したという実績(人数)を記載して、表現を工夫してはどうか。

○「両大学の統合等に関する重要目標」に関する評価について

(大項目評価審議)

- ・ 大項目評価としては、A評価(「計画通り」進捗している)が妥当と判断する。
- ・ 新大学の開学について、トラブルなく実施できたということ以上に統合自体が社会

的にポジティブに取り上げられることが多かったのは評価できるのではないか。

○ 全体評価に係る審議

- 全体評価について「おおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している」が妥当と判断する。
- 計画したことが進捗しているというところはわかるが、全体として統合のメリット自体を意識して次に計画を立てていく必要があるという意見を付す必要があるのではないか。
- 昨年度の業務実績を評価するものであり、記載の難しいところではあるが、世間の期待としてはすでに大阪公立大学が稼働している状況なので、何らか新大学に期待することを記載すべきと考える。
- 法人全体の財務における病院の比率が大きいところ、NO.89 から NO.91 と NO.60、NO.61 の項目が分かれているが病院の収入が大学の収入の大半を占めており、分けて評価を行うことに違和感を覚える。今回の評価に影響することではないが、「財務内容の改善」に関し、評価をする上で検討いただきたい。

以上